



Type-C ロフト角 & ライ角 調整機能の取り扱いについて

バティックの可変構造ネックは、
あなたに最適な弾道の高さ(ロフト角)と打ち出し角(ライ角)を8通りの調整ができます。

ロフト角調整機能

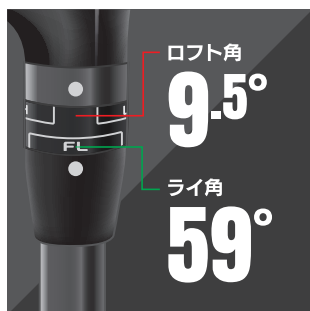
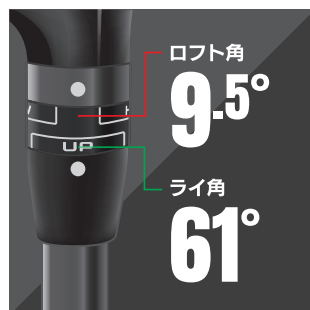
ライ角調整機能

8.5°～10.5°まで、1°刻みで調整可能。

59°～61°まで、1°刻みで調整可能。

※ロフト角調整によりフェース角も変わります。

ロフト角 & ライ角セッティング例



“ LOW ”

ロフト角 8.5°を示します。

“ ”

ロフト角 9.5°を示します。

“ HIGH ”

ロフト角 10.5°を示します。

“ FL ”

フラットであることを示します。(ライ角 59°)

“ ”

標準ライ角 60°であることを示します。

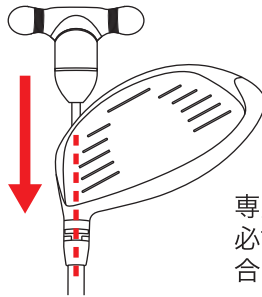
“ UP ”

アップライトであることを示します。(ライ角 61°)

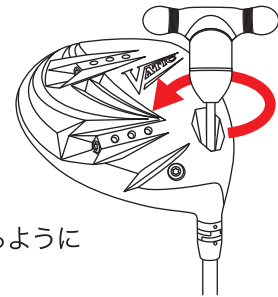
ロフト角 & ライ角の調整方法について

STEP1

ホーゼルボルトを
反時計回りに緩めます。

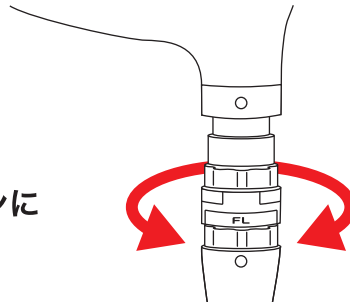


専用トルクレンチを
必ずシャフトと一直線になるように
合わせてください。

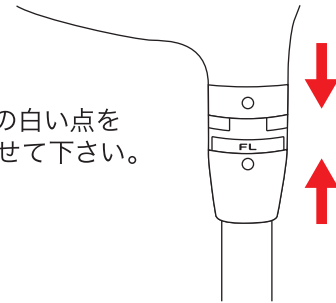


STEP2

リングを、お好きなポジションに
合わせます。

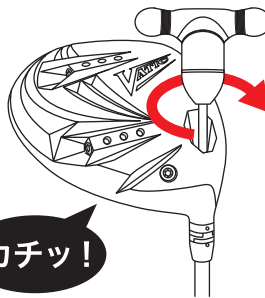
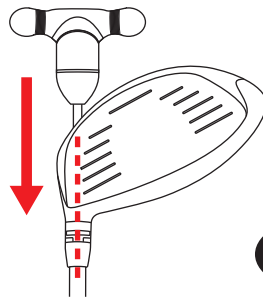


上下の白い点を
合わせて下さい。



STEP3

ホーゼルボルトを
時計回りに締めます。



レンチが“カチッ”と音がするまで
ネジを締めつけてください。

！ 注意

シャフトとヘッドが完全に
固定され、シャフト・グリップの
向きも正常であるかを確認して
安全にご使用ください。



WARNING 警告

調節機能付きウッド 使用上のご注意

定期的にゆるみがないよう締め直してください。

バディック調整機能付きウッドは、USGA と R&A ルールに適合しています。

但し、ラウンド中にロフト、ライ角の変更はルール不適合となりますので、行わないでください。

ラウンド中にクラブヘッド・ウェイトが緩んでいるのに気付いた場合は、再度締め直す事が出来ます。(規則 4-3(ii) より)

ゴルフ規則について詳しくお知りになりたい方は、www.randa.org ・ www.jga.or.jp をご参照ください。